

# 廃校舎を活用した『筒香元気復活プロジェクト』!!

# 筒香生活圈(高野町)

## ①筒香の現況

【人口】87人【集落数】3集落  
【高齢化率】69%  
【施設】高野町立富貴診療所、富貴郵便局  
富貴郵便局、高齢者福祉センター  
高野町立筒香小学校(廃校)  
富貴町立富貴小・中学校(小中一貫教育)  
筒香多目的集会所  
JA紀北かわかみ富貴グリーン店  
【地域資源】丹生神社、丹生川

【主産業】特用林産(ミョウガ、マツタケ)  
・ミョウガ:生産者15人、生産量約21t  
・マツタケ:生産量約1t、松林約102ha  
その他(野菜、水田、薄板、ヒノキ紐など)  
【特産品】ミョウガ、マツタケ、薄板・ヒノキ紐  
【鳥獣被害】イノシシ・シカによる農作物被害  
【交通】『夢たまご・ハイランドタクシー』町営  
・下筒香～富貴(平日4便、土日2便 8人乗)  
・東富貴～五条バスセンター(平日4便、土日2便)

【生活環境】高野町立富貴診療所 医師1名(常勤)  
・診療 平日(8:40～11:30)  
第4金曜日(13:30～14:30)眼科  
休診日(土日曜日、祝日)  
移動販売(3社)  
・週2回(火、木、土)  
・肉、魚、乳製品、野菜、パン、惣菜等

## ②筒香の課題

### 1. 移住・交流や高齢者支援等の活動拠点が必要

- ・地域内外の住民との交流を、広く推進する総合的な活動拠点づくりが必要
- ・高齢者への自立支援や高齢者同士の交流拠点の整備が必要
- ・UIターン者等の移住・定住を推進するための様々な取り組みが必要

## ③総合対策

### 《交流・移住・環境対策》

#### ○体験・交流の活動拠点整備【寄合会】

- (拠点) 廃校となった筒香小学校を体験・交流拠点として改修し再活用  
(体験) 「ミョウガ作り隊」を募集し、栽培から収穫・調理までを体験メニューとして提供  
木工教室や炭作りなど、様々な「ものづくり」を体験メニューとして提供  
(交流) 地域の「立ち寄り処」として、地域内各団体の情報交換及び連携・交流の場に活用

#### ○高齢者の交流・活動拠点整備【筒香各区】

- (拠点) 廃校の筒香小学校の一部を、高齢者の交流や活動拠点とした高齢者サロンに改修  
(交流) 「高齢者サロン」は地域で運営し、高齢者の為のイベントや安否確認を実施

#### ○移住推進を目指した情報発信【筒香各区】

- (空き家) 移住希望者を受け入れるための「空き家」確保に向け、地域で説明会を開催  
(交流) 筒香小学校での様々な体験・交流を通じ、地域への移住を推進  
(情報) 「空き家情報」や地域イベント等の情報を町外に発信

#### ○「ホタル」を通じた環境教育の拠点整備【寄合会】

- (環境) 地域住民と富貴小中学校が連携し、「ホタル」を通じた環境教育の拠点を整備  
(交流) 「ホタル復活隊」を地域内外から募集し、みんなで「ホタル」の生息地復活を目指す



【廃校:筒香小学校】

### 2. ミョウガ畑の放棄やマツタケの生産量が低下、地域力が低下

- ・担い手の高齢化による放棄ミョウガ畑・遊休農地の増加が深刻化
- ・貴重な収入源である特産品のマツタケの生産量が減少(資源の減少)
- ・UIターン者等の移住者を受け入れるために必要な就労の場が必要

### 《産業対策》

#### ○マツタケの生産・加工・販売対策

##### ①生産量の拡大【筒香林業研究グループ】

- (学習会) 生産量拡大に向けた学習会を、外部講師を招いて開催  
(試験林) 「マツタケ試験林」を設定し、学習会での内容を実践し生産量拡大を目指す

##### ②新たなマツタケ資源の活用【筒香林業研究グループ、筒香婦人会】

- (直売所) ブランド強化と新たな販路開拓として近隣の直売所や高野山内の商店で販売  
(高野山) 精進料理を提供している高野山内の宿坊と連携した新たな販路拡大  
(加工) 筒香婦人会が中心となり、廃校舎の筒香小学校を拠点として、マツタケを活用した新たな加工品(フリーズドライ)の試作・販売に取り組む  
(その他) 「マツタケ祭」を開催し、即売会を開催するなどマツタケのPRを実施

#### ○ミョウガの加工・販売対策【林業研究グループ】

- (加工) 筒香婦人会が中心となり、廃校舎の筒香小学校を拠点として、地元産品のミョウガを活用した新たな加工品の試作・販売に取り組む  
(販売) JA紀北かわかみと連携し、ブランド強化を図り、販売促進に繋げる



【マツタケ】



【ミョウガ】

## ④目指すべき姿

- 交流・移住の推進で、元気な集落づくり!
- 特産品(マツタケ、ミョウガ)の生産・販売力向上で活力向上!



【事業期間】 H25年3月～H26年3月

【事業主体】 寄合会、各地区、筒香林業研究グループ、筒香婦人会

【予算】 総務省H24年度補正「過疎集落等自立再生緊急対策事業」